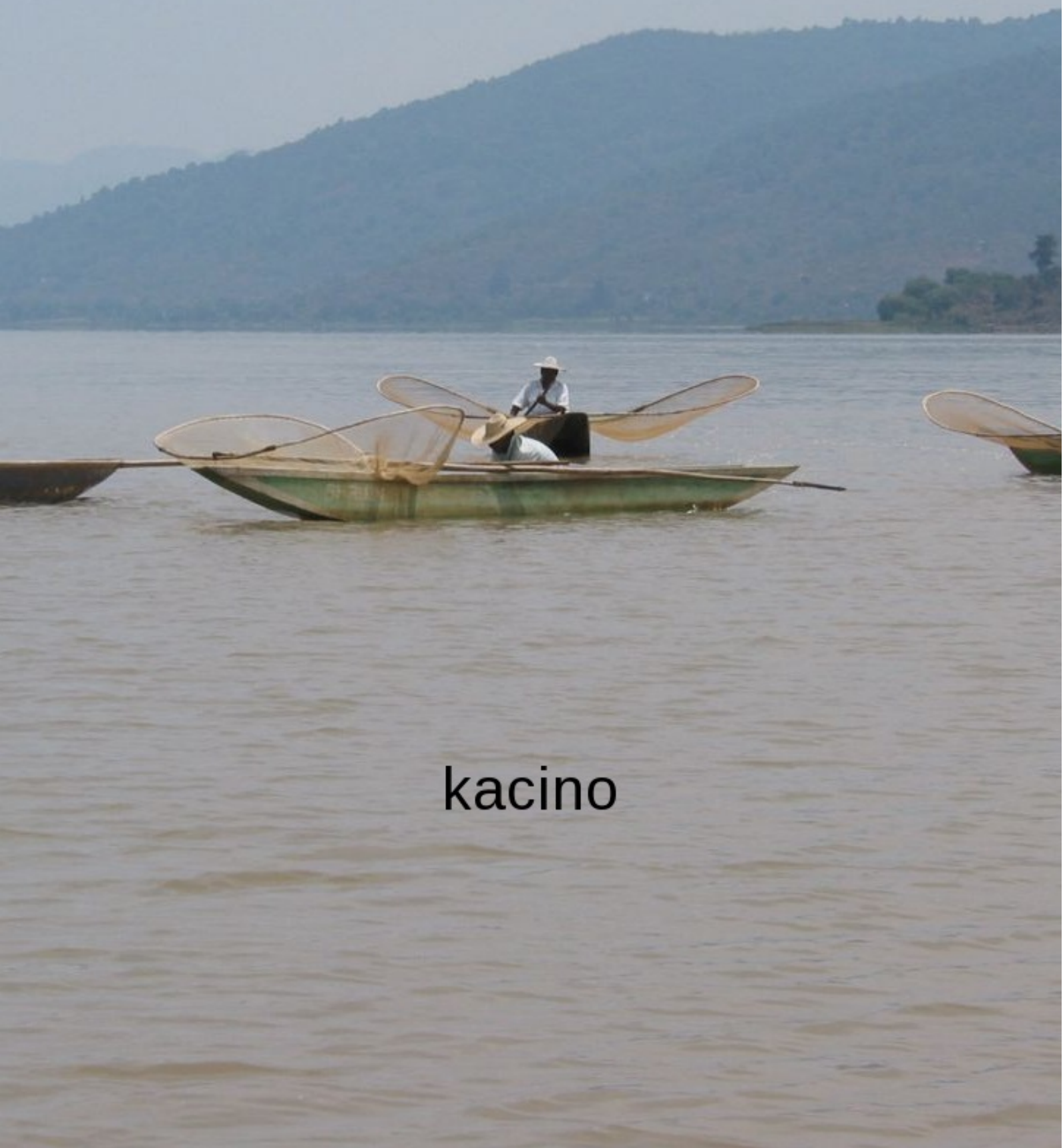


ブラックジャック
【基本】
ガイドブック



kacino

【目次】

■ブラックジャックとは

■基本的なルール、遊び方

■ブラックジャックの基本用語

■攻略法

■実際にブラックジャックで遊んでみよう

■ブラックジャックとは

ブラックジャックとは、トランプを使ったゲームの一種で、簡単に説明すると、ディーラーとプレイヤーとが2枚ずつのカードが配られるところからスタートし、

カードの合計が21以下(21が一番強い)で、21に近いほうが勝ちというシンプルで簡単なゲームです。

ブラックジャックの歴史は、16世紀後半、ヨーロッパの家庭用ゲームから発展したゲームといわれています。

スペードのAまたはJが出ると特別ボーナスがもらえるルールがあったことから「**ブラックジャック**」と呼ぶようになり、ゲーム名にもなりました。

その後「**ブラックジャック**」の定義は「スペードのAとJ」からスペードに限らず、「Aと10、J、Q、K」に拡大されました。

ブラックジャックは、ヨーロッパから生まれたゲームになりますが、19世紀後半にはアメリカでも楽しめるようになり、

1960年代ブラックジャック必勝法が考案され、広められたことにより、爆発的な人気を集めました。

単純明快なルールと駆け引きの奥深さから、世界中から高い人気を集めるゲームに発展しました。

世界的にポピュラーなゲームなので、やったことがある！！ 知ってる！！という人も多く、**カードゲームの中でも最も定番で人気の高いゲームのひとつ**です。

■基本的なルール、遊び方

カジノで行われるブラックジャックは、プレイヤーはプレイヤー同士ではなく、**ディーラー(親、胴元、ハウス)**との間で1対1の勝負を行います。

プレイヤーが何人かいる場合は、ディーラーは複数のプレイヤーと同時に勝負を行います。

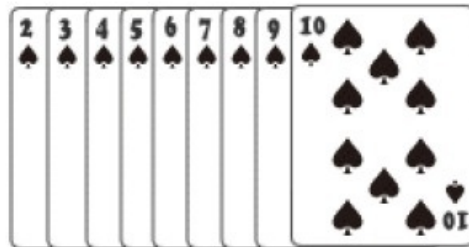
各プレイヤーの目標は、21を超えないように手持ちのカードのポイントの合計を21に近づけ、その数字がディーラーより21に近づくことです。

手の中のカードのポイントは、カード2~10ではその数字どおりの値であり、また、絵札であるK(キング)、Q(クイーン)、J(ジャック)は10と数えます。

カードの数え方



1 または 11



2 ~ 10
各数字と同じ数え方



絵札は10として数えます



例

この場合、7と9で合計16となる

A(エース)は、手持ちのカードの合計が21を超えない範囲では11と数え、超える場合は1として数えます。

なお、Aを11として数えても21を超えない手持ちのカードの組み合わせのことを「ソフトハンド」と呼び、Aを1として数える、またはAを含まない状態のことを「ハードハンド」と呼びます。

ソフトハンド



$$8 + A \begin{cases} \rightarrow Aを1とする & 9 \\ \rightarrow Aを11とする & 19 \end{cases}$$

このようにAを1でも11でも好きな数に出来る状態をソフトハンドと言います。

ハードハンド



$$8 + 9 = 17$$

Aを1としか数えることが出来ない状態、またはAを含まない状態をハードハンドと言います。

各プレイヤーがはじめの賭けを終えると、ディーラーはカードを自分自身も含めた参加者全員に2枚ずつ配り、ディーラーの2枚のカードのうち1枚は表向きにされ、全員見ることができます。

もう1枚のカードは伏せられているプレイヤーのカードはカジノによってフェイスアップ(表向き)の場合とフェイスダウン(裏向き)の場合もありますが、現在主流になっている6デッキ以上を使用するルールにおいてはフェイスアップでくばられることが通例(常識)になっています。

この時点で、プレイヤーが21(1枚は10, J, Q, Kのうちのどれかで、もう1枚はAという組み合わせの場合のみ可能)であれば「**ブラックジャック**」または「**ナチュラル21**」と呼ばれ、ディーラーが21でなかった場合には賭金の2.5倍の払い出しを受けることができます。

プレイヤーもディーラーもブラックジャックの場合には引き分け(プッシュ、スタンドオフ)になります。

プレイヤーが21ではなくディーラーがブラックジャックの場合にはこの時点で自動的にプレイヤーの負けとなります。

■ブラックジャックの基本用語

・ベット(BET)

チップを賭けることをいい、以下のようにテーブルにチップを置きます。



・ディーール(DEAL)

ディーラーがカードを配ることをいい、ベットしてから上記の「ディーール」の画像をクリックするとカードが配られます。

・ヒット(HIT)

さらにカードをもらうことをいい、下記のように「ヒット」の画像をクリックするともう1枚カードが配られます。



・スタンド(STAND)

それ以上カードを引かないことをいい、以下のように自分の手札の合計が「20」の場合は、これ以上カードを引く必要がないので「スタンド」を選択します。



・スプリット(SPLIT)

同じ数のカードが2枚配られた場合、2つの独立した手に分け、それぞれの手に賭けることができます。これを行うには最初の賭金と同額の賭金を追加しなければなりません。

以下の場合、最初に配られたカードが「3」と「3」。ベットした金額は5ドルでした。

この場合、5ドルを追加することで、以下のように最初の組み合わせを分裂させ、ハンドをひとつ増やしてゲームを行うことができます。

インシュアランス



Wild Jungle CASINO



賭け金: \$5

賭け金: \$5

・ダブルダウン(DOUBLE DOWN)

次のカードを引いて勝てると確信した場合に、カードをあと1枚しか引かないことを宣言して賭金を倍(通常2倍)にして、カードを引くことをいいます。

例えば以下の左の「4」と「7」のカードの組み合わせを見てください。

他のカードにどれくらい絵札(10)が出ているか?などを見てからの判断になりますが、最初に配られたカードの合計が「11」であれば、次にどんなカードを引いてもバースト(22以上)になることはありません。

また、絵札や10が出る確率も高いので、このようなケースにおいて「ダブル」を宣言し、倍の賭金を払って、2倍の利益を取りに行くことができます。



・インシュアランス(INSURANCE)

ディーラーの表向きに配られたカードがエースのとき、最初に賭けたチップの半額を追加することにより、インシュアランス(保険)をかけることができます。ディーラーが「ブラックジャック」だと思うときには、インシュアランスをかけます。



インシュアランスをかけていれば、ディーラーが「ブラックジャック」であった場合、保険金が2対1で支払われます。

ディーラーが「ブラックジャック」でないときは、保険金のみ没収されます。

ディーラーにエースが出るたびに賭けるかどうか聞かれます。

・ブラックジャック(BLACK JACK)

ゲームの名称でもある「ブラックジャック」は、厳密にいうと、最初の2枚のカードで21点を獲得した場合を指します。(ナチュラル21)



・バースト(BURST)

数字が21を超えるカードをいいます。

この場合は、ディーラー側のカードがいかなる場合でもこちらの「負け」になります。



・プッシュ(PUSH)

プレイヤーとディーラーのハンドが引き分けの場合を指します。



ブラックジャックで必要な用語、ルールは基本的にこれだけです。

いかに、21にカードを近づけることが出来るか？という基本的なルールのもと、それに付随するルールがあるだけです。

そして、このようにシンプルなルールだからこそ、基本的な「攻略法」なるものも存在します。

■ブラックジャック攻略法

基本的な戦術として、「**ベーシックストラテジー**」を使ってブラックジャックをプレイしましょう。

〈ベーシックストラテジーとは〉

ベーシックストラテジーとは、自分の手持ちのカードとディーラーのカードの組み合わせを分析して、勝てる条件を説明したもので、簡単に言えば**カンニングペーパー**みたいなものになります。

ブラックジャックは21に近いほうが勝ちます。

ディーラーは最初にプレイヤーに2枚のカードを配り、ディーラーには1枚のカードが配られ、それはプレイヤーにもオープンされます。

ベーシックストラテジーでは、基本的に見えていないカードは10であると考えます。

ブラックジャックのルールでプレイヤーはHit(もう1枚引く)かStand(もう引かない)は裁量に任されていますが、ディーラーは17以上だと絶対にStandだし、16以下は必ずHitです。

そこで、最初に配られた2枚のカードとディーラーのオープンされたカードを比較して**HitかStandか**を決めるのです。

例えばディーラーのオープンされているカードが6だとすると、ディーラーは21以上になって、バーストする可能性が高いのでプレイヤーは12でもStandします。

反対にディーラーのカードが1とか10とかのいいカードだと、20とか21のいい数字になる確率が高いのでプレイヤーは16でもHitします。

このように、ブラックジャックには勝つ可能性が高いプレイ方法というのが存在するので**ベーシックストラテジー**を参考にしましょう。

【ベーシックストラテジーのチャート表】

プレイヤーの持ちカードによって確認する図が変わってきます。

■ハードハンドの場合

ハードハンドはエースを含まないかエースを1と数える場合をいいます。

あなたのカード	ディーラーのカード									
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	A
8以下	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
9	H	D	D	D	D	H	H	H	H	H
10	D	D	D	D	D	D	D	D	H	H
11	D	D	D	D	D	D	D	D	D	H
12	H	H	S	S	S	H	H	H	H	H
13	S	S	S	S	S	H	H	H	H	H
14	S	S	S	S	S	H	H	H	H	H
15	S	S	S	S	S	H	H	H	H	H
16	S	S	S	S	S	H	H	H	H	H
17以上	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S

S スタンド	これ以上引かない
H ヒット	もう一枚引く
D ダブルダウン	チップを追加して引く

■ソフトハンドの場合

ソフトハンドとは、エースを11として数える手をいいます。

あなたのカード	ディーラーのカード									
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	A
A,2	H	H	H	D	D	H	H	H	H	H
A,3	H	H	H	D	D	H	H	H	H	H
A,4	H	H	S	S	S	H	H	H	H	H
A,5	H	H	S	S	S	H	H	H	H	H
A,6	H	S	S	S	S	H	H	H	H	H
A,7	S	D	D	D	D	S	S	H	H	H
A,8	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
A,9	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S

S スタンド	これ以上引かない
H ヒット	もう一枚引く
D ダブルダウン	チップを追加して引く

■手持ちカードがペアの場合

あなたのカードがペアの場合は、スプリット(チップを追加して2つの手に分ける)をするケースが多くなります。

あなたのカード	ディーラーのカード									
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	A
A,A	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
10,10	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
9,9	P	P	P	P	P	S	P	P	S	S
8,8	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
7,7	P	P	P	P	P	P	H	H	H	H
6,6	P	P	P	P	P	H	H	H	H	H
5,5	D	D	D	D	P	D	D	D	H	H
4,4	H	H	H	P	P	H	H	H	H	H
3,3	P	P	P	P	P	P	H	H	H	H
2,2	P	P	P	P	P	P	H	H	H	H

S スタンド	これ以上引かない
H ヒット	もう一枚引く
D ダブルダウン	チップを追加して引く
P スプリット	最初に配られたカードをそれぞれ別々の手とし、2つのゲームとしてプレイする

この表は印刷しておいて、まずは見ながらプレイしてみてください。

あとは実際にプレイすることで、自然とどのカードのときに攻めるべきか？どのカードのときは降りるべきか？がわかってくるようになります。

このストラテジー表を踏まえたブラックジャックの戦術もご紹介したいと思います。

【戦術】

1. 「ブラックジャックは勝てるゲーム」

ブラックジャックは、ほかのカジノゲームのように自動的にハウスエッジ(税金などで、ある一定の条件をみたすことで勘定に入れなくていい値)が天引きされることはありません。

通常勝ちの配当は1対1だし、ブラックジャックが出て勝てば2対3。

ディーラーのブラックジャック勝ちが1対1で取られるのに比べれば、これは有利です！

では、ディーラーに有利なルールはなにか。ブラックジャックというゲームにおいては、プレイヤー側にのみさまざまな特権が与えられています。

その特権を列挙すると、

- (1)ヒットするかスタンドするかの判断は自分で好きなように決められる
- (2)ブラックジャックが完成した際の払戻金は5割増し
- (3)ダブルダウンの権利
- (4)スプリットの権利
- (5)サレンダーの権利

などです。

さらに厳密にいうならば、

- (6)賭金の額を自分で決められる

というのもプレイヤー側だけに与えられた重要な特権と言えます(なぜなら、カジノ側はどんな賭金でも受けて立たなければなりません)

また、

(7) ゲームをやめるタイミングの自由

これもプレイヤーにだけ与えられた立派な特権です。

それはプレイヤーがバーストすると完全な負けになってしまうということです。

ともにバーストしても引き分けではありません。

これはゲームをする上で非常に重要なことです。

2, 「ディーラーをバーストさせよう」

ブラックジャックの勝ちパターンは競り勝つことだけではありません。

もうひとつのパターン、バーストしたら負けの逆、ディーラーをバーストさせれば勝ち、というほうが実は**重要**なのです。

例えば、ディーラーのアップカードが6、自分のカードが最低点の12、引いた数が10。気楽に3枚目を引いて、バーストしてしまう可能性もありますが、もしそれを引かずにスタンドしていれば、ディーラーがバーストしていたのに・・・というケースにこれから何度となくぶつかるに違いありません。

ディーラーは16以下の数字の場合は、必ずもう1枚引かなければならない。

ホールカードが10、引いた1枚が6以上でバーストなんてケースは確率的に高い確率で起こりえます。この場合の定石は、当然スタンドなのです。

ディーラーのルールでは計算上約**30%弱の確率でバーストする**計算です。

つまり、3、4回に1回**ディーラーのバースト**が期待できます。

3, 「16以下の場合はディーラーのアップカードによる」

カードの合計が11以下の時は、次に何を引いてもバーストすることはないが12から16の場合はどうするか？

すでに説明してきたとおり、ただ単に機械的にプレイしているディーラーの手には「17」、「18」、「19」、「20」、「21」または「22以上」のいずれかしかありえないことになります。

このことから、プレイヤーにとっては「12」も「16」もおなじ強さの手であるということに気づかなければなりません。

なぜなら、ディーラーの最終的な手に「14」とか「15」とかいう手が存在しない限り、プレイヤーは「12」でも「16」でも、ディーラーがバースト(22以上)してくれない限り絶対に勝てないからです。

4, マルチハンドでプレイして勝率を高める

マルチハンドとは、同時に複数のハンドを作れる状態です。

以下のような形を「シングルハンド」といい、シングルハンドの場合、プレイヤーが作れる手は1つだけで、その手を使ってディーラーのカードと勝負を行います。



それに対し、以下のように同時に複数の手を作れる状態であることを「マルチハンド」といいます。



上記では、5つのハンドを作り、各カードの組み合わせでディーラーのカードと勝負を行います。

先ほど紹介した戦略に従いながらゲームを進めていくことで、地味ながら勝ちをコツコツと積み重ねていくことができます。



このように、たった一度しかゲームをしていませんが、この1回のゲームで52.5ドルもの賞金を獲得しています。

また、ブラックジャックは、一度に大きく負けづらいので長く遊べることも魅力のひとつです。

ブラックジャックで勝っている人は、みんなストラテジーを使いながらマルチハンドでプレイしています。

(もちろん、全員がこれに当てはまるわけではありませんし、ストラテジーが頭の中にすべて入っているひともあります)

■実際にブラックジャックで遊んでみよう



「ワイルドジャングルカジノ」では、[無料でブラックジャック](#)が楽しめます。

[ワイルドジャングルカジノの登録はこちらから](#)

ワイルドジャングルカジノは、日本語に対応したオンラインカジノで、[日本人スタッフによる24時間365日のサポート](#)もついています。

この日本語サポートチーム「Zsupport」はカスタマーサポート賞を受賞している、オンラインカジノのサポートのスペシャリストです。

上記のページからソフトウェアをダウンロードすると、ワイルドジャングルカジノへの登録マニュアルやボーナスの入出金マニュアルなどの、ゲームを開始するための必要な各マニュアルもダウンロードできます。

オンラインカジノが初めての方や、ブラックジャックを初めて行う方におすすめです。

ブラックジャックでもいろいろな種類のブラックジャックがあり、種類によってはルールなども変わっていき、たくさんのブラックジャックが楽しめます。

まずはワイルドジャングルカジノをダウンロードし、マニュアルを読みながら、新規登録までを行なってください。

登録までを終えたら、ワイルドジャングルカジノで実際に行なっているブラックジャックのプレイーションを見ながら、ワイルドジャングルのブラックジャックについて理解できます。

図解でわかりやすく説明されていますので、一度以下の流れに沿ってゲームをはじめてみてください。

ワイルドジャングルカジノからログインをして、「カードゲーム&テーブルゲーム」をクリックし、「ブラックジャック」をクリックしてください。(有料版、無料版のどちらでも行えます)



①プレイ方法が選択できます。

今回は「3-ハンド」でプレイしてみます。

※先ほど「マルチハンド」について説明させていただきましたが、「3ハンド」「5ハンド」ではそれぞれのハンド数でプレイすることができ、シングルプレイヤーでは、1ハンドでのプレイになります。(無料版ではシングルプレイのみとなります)



②次に「テーブルの限度額を選択してください：」の表示が出てきます。

「\$1,,\$300」：最低1ドル～300ドルまで

「\$0.1,,\$300」：最低0.1ドルから300ドルまで

となります。

今回は、「\$1,,\$300」を選択してプレイしてみます。



③3-ハンドでのプレイになりますので、以下の3箇所に賭けたい金額を賭けることができます。

※賭金は、最低：\$1～\$300まで

賭金を置いて「ディーラー」のボタンをクリックすると、矢印(←)の方向から賭金をおいた3箇所にカードが配られます。



④カードが配られたあとの一連の流れとして、以下の画面の番号通りにカードが配られ、アクションを起こすことができます。

右から順に「ヒット」「スタンド」「ダブル」とが選択できます。



⑤以下の画面をご覧ください。



先ほどの場面から、すべて「ヒット」を選択して、①・②はカードを1枚だけ引き、1番大きい数字の21となったので、自動的に「スタンド」となります。

③は、1枚だけ引いて、21より大きい数字となったので、「バースト」です。

ディーラーは、相手のアクションが全て終わったあとでカードをめくります。

※ディーラーは必ず16以下の場合は、カードを引き、17以上はスタンドに自動的になります。

ディーラーは、めくり数字が17以上なので、カードは引けず合計の数字は18となります。

この時点でバーストした③以外のカードは勝ちとなり、\$14を獲得することができました。

⑥次のゲームに移って説明します。下の画像をご覧ください。



一番右のプレイヤーは、配られたカードが「A」と「10(絵札)」なので「ブラックジャック」となります。

この場合は、カードを引くことなく、次のプレイヤーの番に移ります。

ディーラーのカードをめくって、ブラックジャックでない場合は、自動的にこちらの勝ちとなり、ディーラーもブラックジャックの場合は、「プッシュ(引き分け)」となります。

⑦以下の画像をご覧ください。ディーラーの1枚目のカードが「A」のケースです。



これはディーラーが次のカードをめくった場合にブラックジャックの可能性が高いため、「インシュランス」の表示が出てきて、インシュランスをかけることができます。

「インシュランス」は「保険」という意味です。

インシュランスを選択すると、ベットしている金額の半額(上記の場合1ドルをベットしているので、半額の0.5ドル)を出すことで、ディーラーがブラックジャックだった場合、はじめに賭けた金額は取られることがなく、インシュランスで出した半額の0.5ドルが身代わりとして持っていきます。

③次のパターンを説明します。下の画像をご覧ください。



左手にある③のカードが「5」と「5」で同じ数字となっています。

同じ数字が重なった場合は、「スプリット」をかけることができ、カードを2つに分け、カードがそのわけた2枚に配られ、賭金も③で掛けた分\$1が追加されます。

このスプリットした③で勝つことができれば、賭金も追加した金額分勝ちということになります。

先ほど、「用語」でも詳しく説明しましたが、このようにゲームに沿って確認していくとわかりやすいです。

ブラックジャックは、このように非常にシンプルゲームで、オンラインカジノの中でも最も勝ちやすいゲームのうちのひとつです。

1回で”億”を稼ぐことは難しいですが、ブラックジャックを攻略することで、地味ではありますが、儲かることができます。

先ほど紹介したストラテジー表を印刷して、ブラックジャックをやってみてください。

まずは無料ゲームをやって、ルールや感覚を理解してから、有料版で実際に楽しんでもらいたいと思います。

[ワイルドジャングルカジノの登録はこちらから](#)

それでは、ぜひ、ブラックジャックを楽しんでください！